

ほほえみ通信

2020/2/28 発行

第131回 ほほえみ 開催

2月19日(水) 第131回 ほほえみを開催しました。
今回は5名の方が参加してくれました。



次回のほほえみは、3/18(水) 14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります

【がんサロン事務局より】

『がん』という言葉に敏感になる』

(がん体験記)

私自身ががんになって、とにかく“がん”という言葉に敏感になりました。

たとえば、テレビ。最近では芸能人や著名な方々のがん公表も多くなり、それに伴い、がんについてのテレビ番組の特集が目立つようになりました。『日本人の2人に1人ががんになる』ということからみれば、今では誰がなってもおかしくない病。昔のように隠すような病気ではなくなったことも、テレビなどで取り上げる機会が増えたのも頷けます。

そんな、何気に点けているテレビから、「がん」という言葉が聴こえてくるたび、振り向いてしまうのは私だけでしょうか。そして、「どんな話なのだろう」と、テレビ画面に釘づけです。

新聞や雑誌の記事のタイトル、『がん』という文字にも思わず目が留まってしまうようになりました。そんな記事タイトルの文字は、いつもゴシック体で大きく『がん』と目立つように書かれています。それはなんだか、とても悪いイメージのように。

そもそも、“がん”という言葉が持つ響きに「ドキッ」としてしまいます。
「もう少しやわらかい言葉だといいいのに・・・」と、いつも思うのですが・・・。

(北海道/女性/乳がん/がん患者本人)